

## 予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

## 事業名【新】農業大学校農業機械実践研修事業費（R8実施分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 教務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail : c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨（現状と課題）

○農業従事者の減少が見込まれる中、従来の「専業を基本とする大規模経営体」を中心とした農業構造に加え、非農家や都市住民など多様な主体が気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学び、新たに農業に参入する「アグリパーク構想」の実行が求められている。

一方、農業は機械化が進んでおり、アグリパーク参加者が農業機械の基礎知識や操作技術を持たないまま機械を扱うことは事故のリスクを高める危険性がある。

そこで、農業大学校は、これまで学生を対象に培ってきた農業機械に関する指導やノウハウを活かし、一般県民に対しても農業機械の安全操作や農作業の安全対策を実技で指導する役割を担う。農業大学校の研修機能は、アグリパーク構想の実現に不可欠であり、県民の安全な農業参入を支える重要な基盤となる。

## (2) 事業内容

アグリパーク構想を実行するため、アグリパークの開設者を対象に、農業機械の操作方法、構造・機能、保守点検作業実習等についての講習を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

※地方創生推進交付金（地域未来交付金）活用

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	512	講師謝金
旅費	54	費用弁償
需用費	1,572	
消耗品	1,512	農薬、肥料、農業資材、研修資料等
燃料費	60	軽油、ガソリン、オイル
役務費	100	
保険料	50	イベント保険（傷害、損害賠償）
通信運搬費	50	電話等通信費
使用料及び賃借料	300	農業機械運搬
業務委託料	200	農大H P改修
原材料費	102	野菜種子、苗木
備品購入費	160	一条管理機
合計	3,000	

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

II—2 儲かる農業・林業・畜産業を実現し、持続可能な農山村をつくる

・農業の担い手を育成・確保する

・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

### (2) 国・他県の状況

・岐阜県を含む42道府県が農業大学校を設置

### (3) 後年度の財政負担

### (4) 事業主体及びその妥当性

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

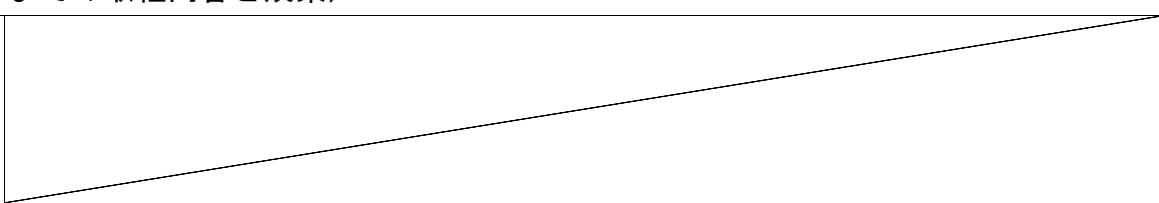
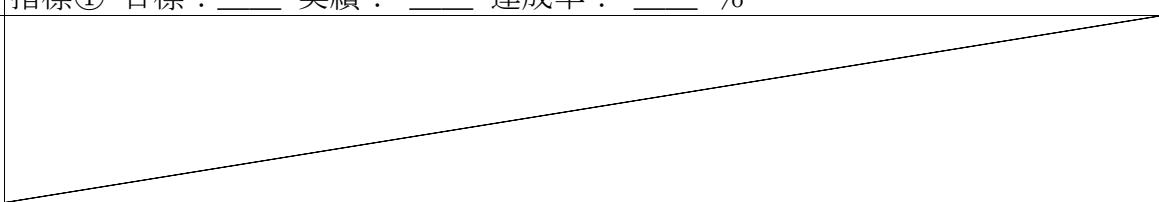
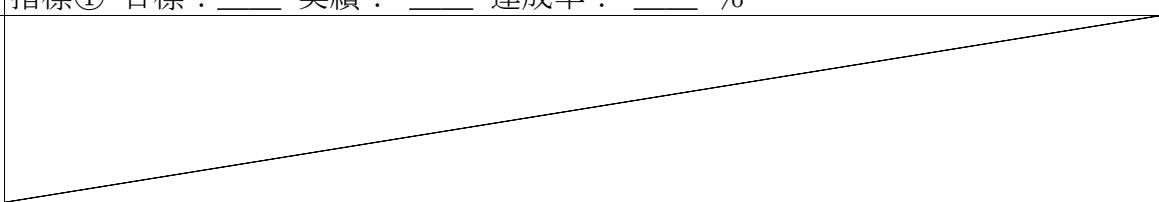
- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・令和12年度（ぎふ農業・農村基本計画の最終年度）までに、アグリパーク構想の参加者が、農業機械の操作技術や農作業に関する安全対策の知識を習得し、安全かつ意欲的に農業へ参入できる状態を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①参加者数	0	—	—	30		

### ○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %	
令和5年度	
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %	
令和6年度	
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価)	

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	<input type="text"/> 【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	<input type="text"/>